

今、仕事を探している人へ。

自分らしく
働けるかどうかで
仕事を選びませんか？

福祉の現場を
見よう！

社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会
兵庫県福祉人材センター



福祉の仕事に興味を持たれたら 兵庫県福祉人材センターを活用しよう

福祉人材センターは、福祉のお仕事に興味を持つあなたの強い味方。
以下のような事業をしています。お気軽にご相談ください。

feature 1

就職相談・紹介

仕事の内容についての相談や必要な資格の取得方法、労働条件に関することなど、
専門の職員が丁寧にあなたの就職活動をサポートします。
求職登録をしていただくと、紹介状を発行することが可能です。



feature 2

福祉のしごと職場見学バスツアー

福祉の仕事には興味があるけど、どんな感じかイメージがつかない・・・という方には、
「福祉のしごと職場見学バスツアー」がおすすめ！福祉施設へ人材センター職員がご案内。
同じ疑問を持つ参加者の方とじっくり施設の見学をしていただけます。



feature 3

福祉体験学習

就職する前に、一度どんな施設か体験してみたい・・・という方には、
「福祉体験学習」がおすすめ！兵庫県内の多くの福祉施設が、体験先として登録しています。
気になる施設で最大5日間、職場体験をしていただけます(高校生以上可)。



feature 4

就職総合フェアなどイベント開催

年に2回、大型の就職総合フェアを開催！その他県内各地で就職説明会も開催しています。
採用担当者と一緒に話していただける機会をご提供しています。



feature 5

求人・イベント情報発信

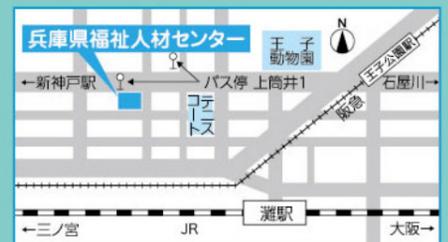
FacebookやHPで役立つ情報を配信！
求職登録いただいた方へは、新着求人情報や就職フェアなどのイベント情報をお届けしています。



社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会
兵庫県福祉人材センター



〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター内
TEL:078-271-3881 ●平日8:45~17:30 ※土曜・日曜・祝日・年末年始は休館
<https://www.hyogo-wel.or.jp/>



JR灘駅より徒歩約10分・阪急王子公園駅より徒歩約10分

福祉の現場を見よう!

福祉の仕事に興味があっても、一步を踏み出すのは勇気がいります。仕事の内容、現場の雰囲気、自分にもできるのか……。そこで3人の兵庫県在住の方々直接向現場を体験してもらいました。

主婦の私が特別養護老人ホームに行ってきた!

初めてです!

介護職員の小山汐音さん



子どもの頃、曾祖母の食事介助をしたときに、「おいしい」と喜んでくれて、人の役に立てる仕事をしようと思った決まりました!



その方に合った声かけを心がけています。「ありがとうございます」と言ってもらうと、うれしくて励みになりますね。

機能訓練指導員の北村早希さん



その人のペースに合わせて無理なくリハビリを楽しめる工夫をしています。

理学療法士の知識と経験を生かし、個別訓練集団レクリエーションなどを担当しています!



介護福祉士の資格取得に向けて勉強をしています。実践しながらなので理解しやすく、先輩にも教えてもらえます。

資格はこれから取ります



ハンドメイド大好き♡

クラフトや運動などの機能訓練で笑顔が出るとうれしですね。いろんなことにやりがいを感じる毎日です。



皆さん本気モードだ!

私も楽しんでやあ!

今日はみんなで風船バレーをします!

現場体験レポート!

第一印象は?

施設内はすっきりと片付いて、入所されている方の手作り作品が飾られるなど、あたたかい印象を受けました。職員の方がさりげなく声かけをされたり、そつと介助をされたり、その様子がすごく自然で、入所者の皆さんの笑顔も印象的でした。
見知らぬ私に話しかけてくださる入所者の方も多く、ちょっと嬉しくなりました。

驚いたこと

介護の現場はあわただしいと思っていたのですが、ゆったりと時間が流れていました。おやつの時間に職員の方が、おひとりおひとりに合わせた声かけをしながらお菓子を手渡しされていました。性格も好みも、生きてこられた人生も違う、その方の気持ちを尊重し、敬いながら接しておられるのを見て、とても奥の深い仕事だなと思いました。
食事やお風呂などの介助も大切ですが、入所者の皆さんが穏やかな気持ちで過ごせるような気配りが大切なんですね。

おもしろそう!

資格がないと福祉の仕事に就けないと思いましたが、小山さんのように介護の仕事しながら資格を目指すことができることを今知りました。「しんどいことより、それを上回る喜びの方が多い」と聞いて、悩む前に飛び込めばよかったと少し後悔……。
でも、今からでも遅くないと思いました。仕事とプライベートのバランスを取りながら、自分らしくイキイキと働く職員の方を見て、「私も何かやってみたい!!」と思いました。

体験した人

永島まり子さん (47)

子育てが落ち着いた頃、学生時代から興味があった福祉の仕事に就こうとしたものの、年齢的なことと資格がないことであきらめてしまいました。

column 01

みんなが働きやすい福祉の職場

福祉の職場には、無資格・未経験の方や中高年の方が働きやすい介護補助という職種もあります。介護は難しくても、食事の配膳や洗濯、掃除など体力が不安な方でもできる仕事も!ぜひチャレンジしてみてください。

福祉の現場を
見よう!

転職したい私が 障害者支援施設に 行ってきました!

生活支援員の上田翔平さん



両親が障害者福祉の仕事に就いていたため、子どもの頃から施設のイベントに参加していて、自然な流れで福祉の道に進みました。



心に余裕が持てるので周囲への目配りもできます

ここは時間がゆっくり流れている感じで、入居者さんとしてしっかり向き合えるのがいいですね。

支援で困った時には周りに相談できます



外に出ると気分転換になりますね。

散歩や園外活動で外に出ると、皆さん元気が出て、普段と違う表情が見られるのがうれしいです。

一人ひとりに向き合えるのはいいなあ...

就労支援員の大塚瞳さん



企業に勤めていたときに、総務で担当していた社会保険や給与の知識が役に立っています。

デスク周りは女子力高めアイテムが揃ってます♡



「相談してよかった」と言ってもらえると励みになります。



本人の希望をしっかりとヒアリングし、ハローワークや面接にも同行して企業とのマッチングを支援します。

こんなふうにも、相談にのってもらえるのか...

安心♡

話しやすい!

現場体験レポート!

第一印象は?

福祉施設になんとなく暗いイメージをもっていたのですが、落ち着いたインテリアのリビングや中庭には緑もあって素敵な雰囲気。入居者の方はおだやかで、職員の方々は明るく、すぐに打ち解けてお話しが聞けました。皆さんのやりとりから、職場の風通しの良さを感じました。

驚いたこと

障害がある方とのコミュニケーションをどのようにしているのかなと思っていました。職員の方が一人ひとりの些細な変化に気付いたり、望まれていることを感じ取り、入居者の方により良いケアを選ばれている様子を見て、プロの仕事だと感じました。

また、就労支援は、その人に寄り添って細かくフォローしておられます。障害の状況によって仕事も変わりますし、本人の希望と企業の要望にズレが生じる場合もあります。受け入れ態勢ができていない場合はどちらも苦労することになります。就職するだけでなく、そこで引き続いて働いていけるかまで考えて、本人と企業の両方を支援する仕事なんですね。

おもしろそう!

今まで企業で商品開発の仕事をしてきたので、相手の満足度を高めようという行動する習慣が身についています。これは福祉の仕事でも活かせるかも。その人にとっての最良は何か、様々な情報と知識の中から選んでアウトプットして、相手に喜んでもらえる、やりがいと誇りが持てる仕事ですね。また、男女同じように活躍できて、長く続けられる点も魅力に感じました。

体験した人
竹内里佳さん(40)

企業で商品開発の仕事をしていましたが、人と関わる仕事に転職を考えています。叔母が介護職に就いているので、福祉の職場を見てみたいと思いました。

column 02 障害者福祉施設ってどんなところ?

障害には、身体、知的、精神障害等があり、一人ひとりの障害特性に応じた支援を行います。仕事の内容は、介護や生活支援、就労のサポート等多岐にわたります。

福祉の現場を
見よう!

学生の私が 児童養護施設に 行ってきました!

訪問することで
イメージが変わりました!

児童指導員の竹島和歌子さん



保育士から転職しました。責任は重いですが、長い目で子どもの養育ができる良さがあります。今は天職だと思っています。

支援計画をもとに、日々の養育に携わっています。子どもの成長はうれしい。その感情を職員みんなで共有できる。やりがいがありますね。



うわ、服をたたむの早いなあ...さすが!

産休・育休を取って働き続けています。シフト制で時間に融通がきくのがありがたいです。自分の人生経験が仕事に生かれます。

ワークライフバランスの実現を目指しています。



児童指導員の大宅明日香さん

職員は子どもが付けたニックネームで呼ばれています。私は、「明日香ねえ」「あっすー」。職員同士もそう呼び合っています。



日々の何気ないことを幸せに思ってもらえるように、生活をていねいに支援していけたらと思っています。

食事の準備中!



わあー美味しそう!

子どもたちの笑顔が思い浮かぶなあ...

専門学校の施設実習で、「あなたのように子どもに触れ合い、遊ぶ姿が大切」と言われて自信を持って、この仕事に決めました。

秘訣はスキンシップ!



現場体験レポート!

第一印象は?

施設には、キッチンに大きなテーブルとおもちゃコーナーのあるプレイルーム、子どもたちの個室もあって、一軒の家をそのまま大きくしたような、あたたかな雰囲気を感じました。
「ただいま!」と大きな声で帰って来て、「お帰り!」と迎えてもらう様子は本当に自然です。色々な事情があってもここにおいても、温かく支えられ、健やかに育っている、という印象を受けました。

驚いたこと

子どもたちの1日の生活時間に合わせ、職員の方がシフトを組み、常に誰かが子どもたちに寄り添っているんです。
ね。思ったより男性の職員が多くて驚きました。食事や掃除、洗濯などの身の回りのこと等、細やかに対応されています。
大学・専門学校へ進学する子どもも多く、様々な制度を使いながら希望に合わせて、自立へ向けた支援をしていると聞いて、一人ひとりの人生に深く向き合っていく責任ある仕事だと思いました。

おもしろそう!

施設では、児童指導員のお二人のように保育士の他、教員、社会福祉士、社会福祉主事(任用資格)等の資格を持った方が働いています。それぞれ連携しながら、自らの専門性を活かして、子どもに寄り添っていらっしやいます。竹島さんが言われた、「子どもは何歳になっても愛情をいっぱい注ぐことで、育ち直しはできます。そう信じています」という言葉が印象に残りました。
子どもたちと一緒に自分も学び成長できる魅力的な仕事だと思いました。就職の候補の一つとして、考えてみたいと思います。

体験した人

菱田優斗さん(21)

関西学院大学総合政策学部
の学生です。「保健医療政策論」
で福祉施設について学びまし
たが、実際はこんなところだ
ろうと興味がありました。



column 03

児童福祉施設の仕事

児童福祉施設には、児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、保育所、幼保連携型認定こども園等があります。児童の成長に寄り添うとともに、児童の保護者も含めて支援します。